



## 社会に与える利益が

## 事業発展の源泉なり

三郷市倫理法人会 会長 見付 春雄

世のすべての企業には、創業・開業といっ  
た「はじめ」があります。

「初心忘るべからず」といいますが、これは  
室町初期の能楽師・謡曲作者である世阿弥  
の遺訓です。当初は「能楽を習い始めた頃の、  
未熟さや至らなさを忘れてはならない」とい  
う意味で伝えられていたようです。いつし  
か、それが転じて「何事も始めた頃の志や決  
意を忘れてはならない」と解されるようにな  
りました。いずれにしても「物事を始めた時  
の気持ちを忘れるな」ということです。

創業・開業の動機は「自分の技術や能力を  
活かしたい」「世の中の役に立ちたい」というポ  
ジティブなものから、「ただ何となく」「他に  
職がないので仕方なく」「ひと儲けして金持  
ちになる」「社長の肩書が欲しい」「有名にな  
りたい」まで様々でしょう。  
動機は各人各様であつ  
ても、そこから導かれた社  
長の意識が「経営理念」と  
なります。それは目的・目  
標とも直結し、その後の企  
業価値や商価値など、企  
業活動全般に関わってく  
るといっても過言ではあ



りません。これは後継者が事業を引き継いだ  
際も同様です。

事業発展のキーワードと共通点は「利他」  
にあります。そして原理原則は「発願還元」で  
す。発したものは必ず返るといふ「振り子の  
法則」です。振り子は右に振れただけ左に振  
れます。手前に寄せただけ、逆に前方への力  
が働きます。問題は力を入れる方向性と順序  
です。まず人のため、お客様のためにと押し  
出す。するとこちらに返ってくる。事業の目  
的は社会のニーズに応えること。応えた分だ  
け利益として還元されるのが、原理・原則に  
適った社会のシステムであるべきです。

ただし、現実はそのようになっていないとこ  
ろに問題があるのです。問題は二つ。ひと  
つは自社の問題です。企業として「利他」が  
実践されているかどうか。自社の問題は  
経営者の問題です。いかなる創業・開業  
の動機であつても、経営者自らが目的を  
「利他」に昇華させることが重要です。もう  
ひとつは社会システムの問題です。倫理  
法人会は「日本創生」を旗印に倫理経営を  
多くの企業に浸透させることを目指して  
います。その活動は「利他」にあり、そして  
自社に還元されるものなのです。

### 「純情」

平成27年8月4日(火)  
第1595回モーニングセミナー

一般社団法人倫理研究所  
首都圏方面担当 研究員  
鶴川 宗弘 様

### M・S 点景



倫理とは「純情(すなお)」に  
なるための勉強。素直になる  
ためには人・物・自然が対象な  
るので即実践できるとの事。  
研究所で学んでいた頃、余  
りの寒さに霜焼けに悩まされ  
たのですが、同時にTさん  
という先輩に反感を持ってい  
たそうです。Tさんは片付け・  
後始末が苦手なため、先輩な  
のに足蹴にしていたとの事。  
しかし素直に相手を受け入れ  
る気持ちを持つようになると  
Tさんへの反感も消え、霜焼  
けまで治ったそうです。



平成27年8月11日(火)  
第1596回モーニングセミナー

埼玉県倫理法人会 MS委員長  
西入間倫理法人会  
臼井 崇 様



大学卒業後、様々な仕事をし  
ながら父の仕事(カツラ製作)  
をアルバイト感覚で手伝い、最  
終的にその事業を継ぐ事に。  
「成り行きで」「勧められたから」  
等、理由は色々あるが決めたの  
は自分自身。これも運命と心を  
定め、今の仕事に懸命に打ち込  
んでいく。そうした事で様々な  
喜びや生きがいが見出せたそ  
うです。要は心の持ち方次第。  
カツラは海外生産が主流だ  
が、自社生産、医療用に力を入  
れ、怪我や抗がん剤で髪を  
失った方にお求めやすいよ  
う提供しているそうです。

### 「喜働精神が生き方を変える」

# 「参加社数日本一! 次期会長の本音」

平成27年8月25日(火)  
第1597回モーニングセミナー

千葉県浦安市倫理法人会 副会長  
山藤 利夫 様



浦安市倫理法人会は参加社数日本一のマンモス単会。氏は9月より会長に就任。参加者の紹介で社員を採用。腕も評判も良かったが、落下事故で重傷に。そのせいで大口の建築会社と取引中止になり、売上が半減する危機に。社員に不満をぶつけたら妻に「社員を辞めさせるのでなく、あなたが辞めなさい」と言われ、妻も倫理に参加。その後社員も無事退院。大事なものが何かを痛感したそうです。



◀ 会員スピーチ



「みさとネット」バックナンバーのご案内  
今まで発行された「みさとネット」のバックナンバーは三郷市倫理法人会のホームページよりPDFでご覧いただけます。ぜひご利用ください。  
※PDFファイルをご覧になるには、無料のAdobe Readerが必要です。

<http://rinri-misato.org>  
または「三郷市倫理」で検索。

## ●三郷市倫理法人会カレンダー

【集合場所】 モーニングセミナー…美加和ポスティング…東洋ハウジングおよび美加和

日	月	火	水	木	金	土
8/30	31	9/1 モーニングセミナー 6:00~ (朝食会 7:05~) 広報委員会 18:30~	2	3	4 平成28年度 辞令交付式 15:30~20:00	5 ポスティング 6:00~ (朝食会 8:00~)
6	7	8 モーニングセミナー 6:00~ (朝食会 7:05~)	9 朝礼委員会 懇親会 18:30~	10	11	12 役員会 6:30~ (朝食会 8:00~)
13	14	15 モーニングセミナー 6:00~ (朝食会 7:05~)	16	17 東南地区 地区会 18:30~	18 青年委員会 19:00~	19
20	21 敬老の日	22 国民の休日	23 秋分の日	24	25 正副三役会 地区会 執行委員会 13:00~	26
27	28 倫理経営 基礎講座 18:30~	29 モーニングセミナー 6:00~ (朝食会 7:05~)	30	10/1	2	3 ポスティング 6:00~ (朝食会 8:00~)
4	5	6 モーニングセミナー 6:00~ (朝食会 7:05~)	7	8	9	10

## 万人幸福の葉のしおり

～六条「子女名優」より～

「子供が手に負えぬ、悪くて困るといふ時、その原因はことごとく両親にある」  
わが子を嘆く親は多いですが「子は親の心を実演する名優」とあるように、子は純粋に親の言動や行動、姿形だけでなく、親が心に思う事すら写す天賦の才能を持つているもの。「親の心子知らず」と嘆くのではなく、自ら心を改め「夫婦が朗愛和に帰る」事で自然に子も直ると説いています。

